

【電子版】



2025年 第5号 2025年3月7日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール [info@jikosoren.jp](mailto:info@jikosoren.jp)

ホームページ→



# ライドシェアはすべて『白タク』だ

3・6中央行動 個人請願、議員要請、省庁交渉を実施

3・6中央行動を実施＝2025.03.06、東京・国土交通省前



自交総連は3月6日、25春闘でのライドシェア全面解禁阻止、自交労働者の労働条件改善をめざし、運賃改定のノースライド獲得などを掲げて、3・6中央行動を実施しました。

朝10時30分から国土交通省への個人請願行動を開始。主催者あいさつで庭和田裕之中央執行委員長は「国交省はなぜ同じ過ちを繰り返そうとしているのか。『日本版ライドシェア』や『公共ライドシェア』などという言葉をつくって、利用者にどんどんライドシェアを浸透させようとしている。しかし、こんなものはすべて『白タク』ではない。この規制緩和の道を行けば、必ず利用者と自交労働者が割を食うことになる。こうした訴えをする我々を『既得権益者』などと称す議員もいるが、タクシー産業に規制をしてきたのは利益のためではない。利用者の安心・安全を守るためであり、自交労働者が生活できる賃金を得られるように、たたかってきた。国交省には、本当に国民の利になる改革にとりくんでほしい」と強調しました。そして、「私の出身である大阪で、万博

地方名	提出署名数	
	国交省	厚労省
北海道	292	130
東北	44	44
埼玉	120	120
東京	2638	2589
神奈川	180	180
山梨	8	8
静岡	60	60
石川	20	20
愛知	28	28
関西	1	1
山口	23	23
高知	9	9
福岡	30	31
大分	42	42
長崎	20	20
鹿児島	15	15
沖縄	95	89
本部	4	4
合計	3629	3413

期間中に『日本版ライドシェア』を24時間走らせることを国交省は許可した。しかし『日本版ライドシェア』が走り出したために、いま大阪市域のタクシー營收は頭打ちになっている実感がある。そうしたことを踏まえて許可を出したのか、午後の交渉で直接問うつもりだ」と力強く訴えました。

続いて全労連の竹下武事務局次長、交運共闘の星野芳史幹事、日本共産党の堀川あきこ衆議院議員が連帯あいさつをしました。

市村直之中執が請願書を読み上げ、東北地連の石垣敦書記長、福岡地連の内田大亮書記長が決意表明する中、参加者一人ひとりが国交省の係官に請願書を手渡ししました。

その後、厚生労働省にも同様に請願提出を行いました。

厚労省の係官へ請願書を提出する様子



## 全労連・国民春闘共闘の決起集会に3000人が参加

プラカードを掲げてコール



12時10分からは、日比谷野外音楽堂で全労連・国民春闘共闘が主催する中央総決起集会に参加しました。

冷たい雨が降る中、集会には全体で約3000人が集結。「消費税廃止！」  
「すべての労働者

の大幅賃上げ・底上げを」のプラカードを掲げ、自交総連の仲間も一緒にコールしました。集会後は、国会請願デモを行い、国会議事堂周辺を回りました。

自交総連の代表は、13時20分から国会議員要請行動を実施し、その後、国交省と厚労省との交渉を行いました（詳細は別号）。

デモ行進する自交総連の仲間

